

立命館大学国際関係学部 グローバルスタディーズ（GS）専攻

ライカイ・ジョンボル・ティボル
（准教授）

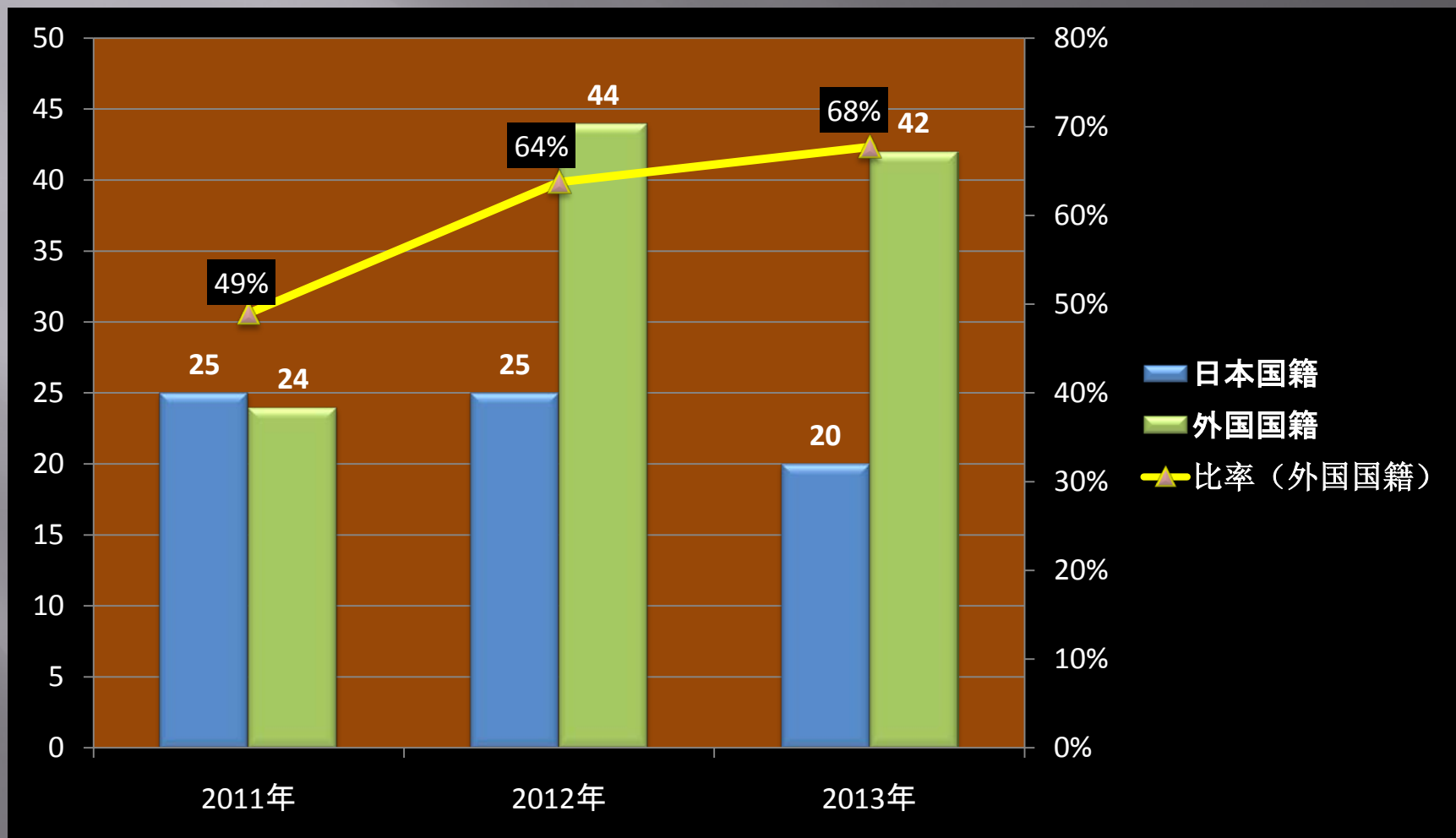
発表課題

- (1) GS専攻の背景情報
- (2) カリキュラムデザイン
- (3) ティーチングスタッフの現状

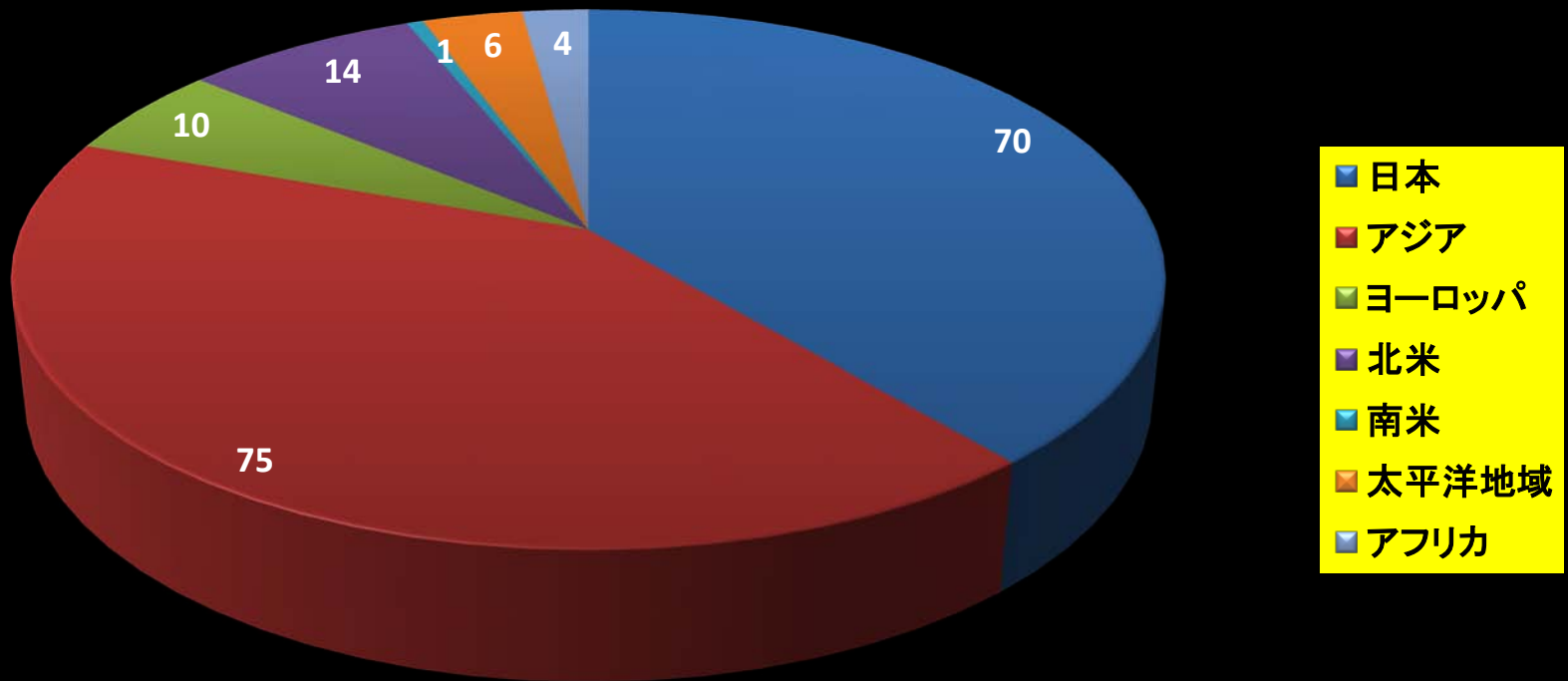
GS専攻の背景情報

- 2011年4月に開設
 - 既存のInternational Relations (IR) 専攻と並行
- 総学生数：180人（2013年12月）
 - 日本人学生：70人
 - 留学生：110人
- GS専攻科目担当者数：13人
（言語学習授業の担当者と非常勤教員を除いて）
 - 日本国籍の教員：5人；外国国籍の教員：8人
- 入学時期は2回（4月と9月）
- クラスごとの平均学生数：20-30人
- 対話式の授業

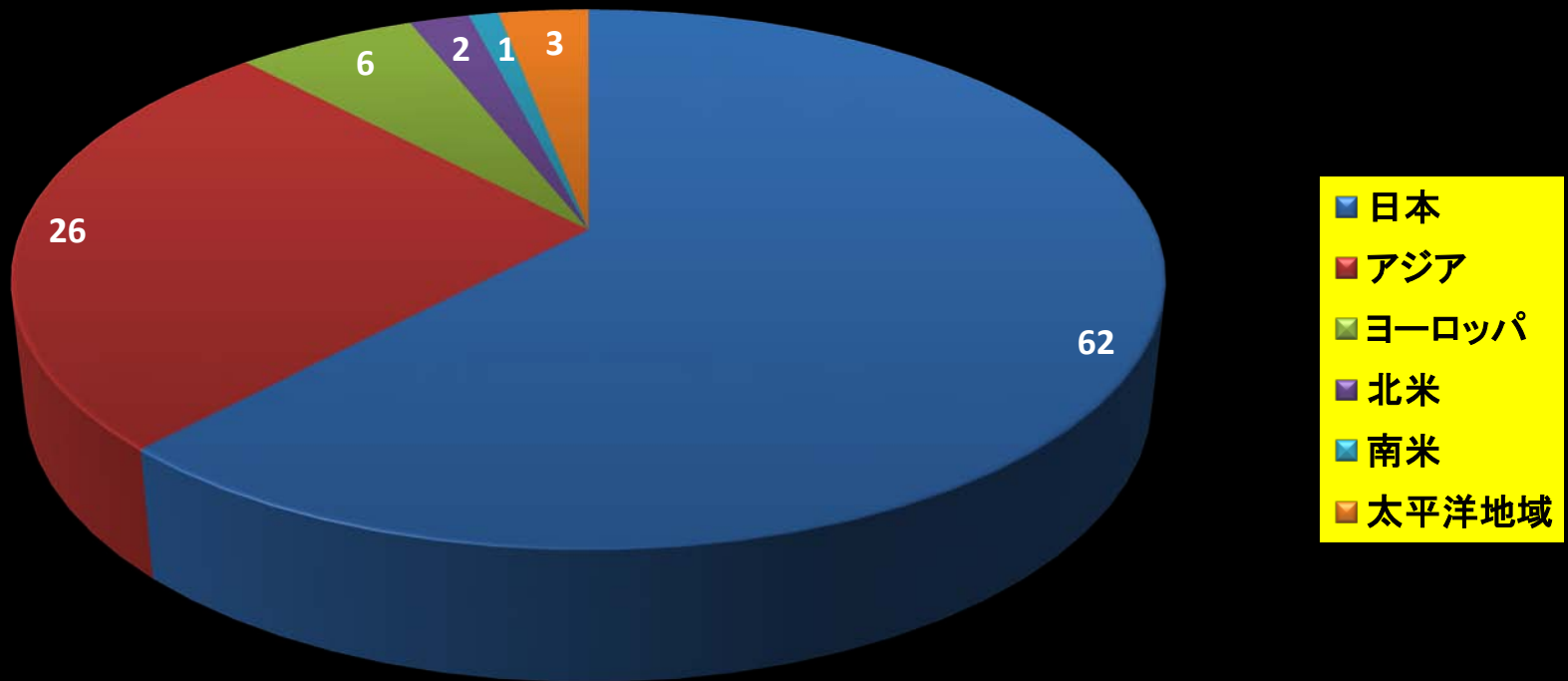
年度入学別国籍別学生数



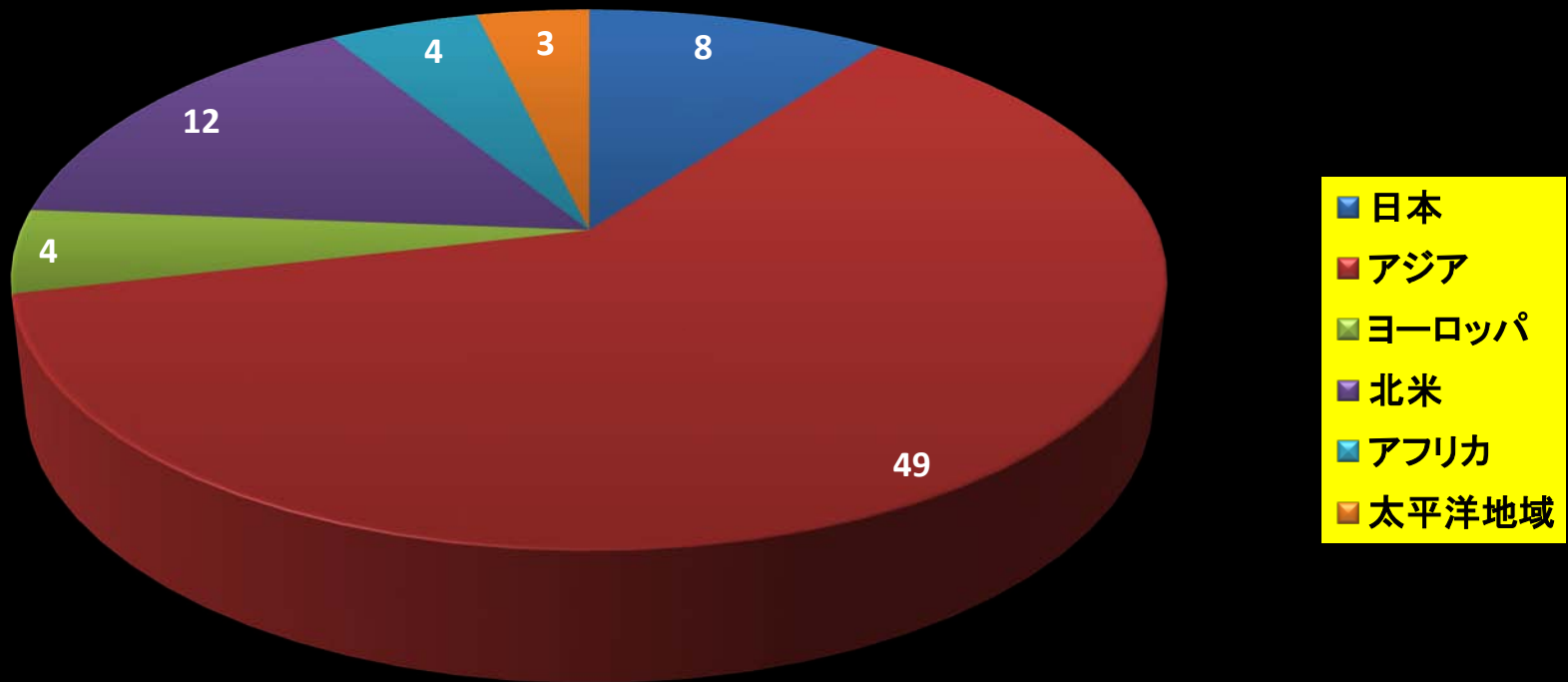
地域別学生数（2013年12月）



地域別学生数（4月入学）



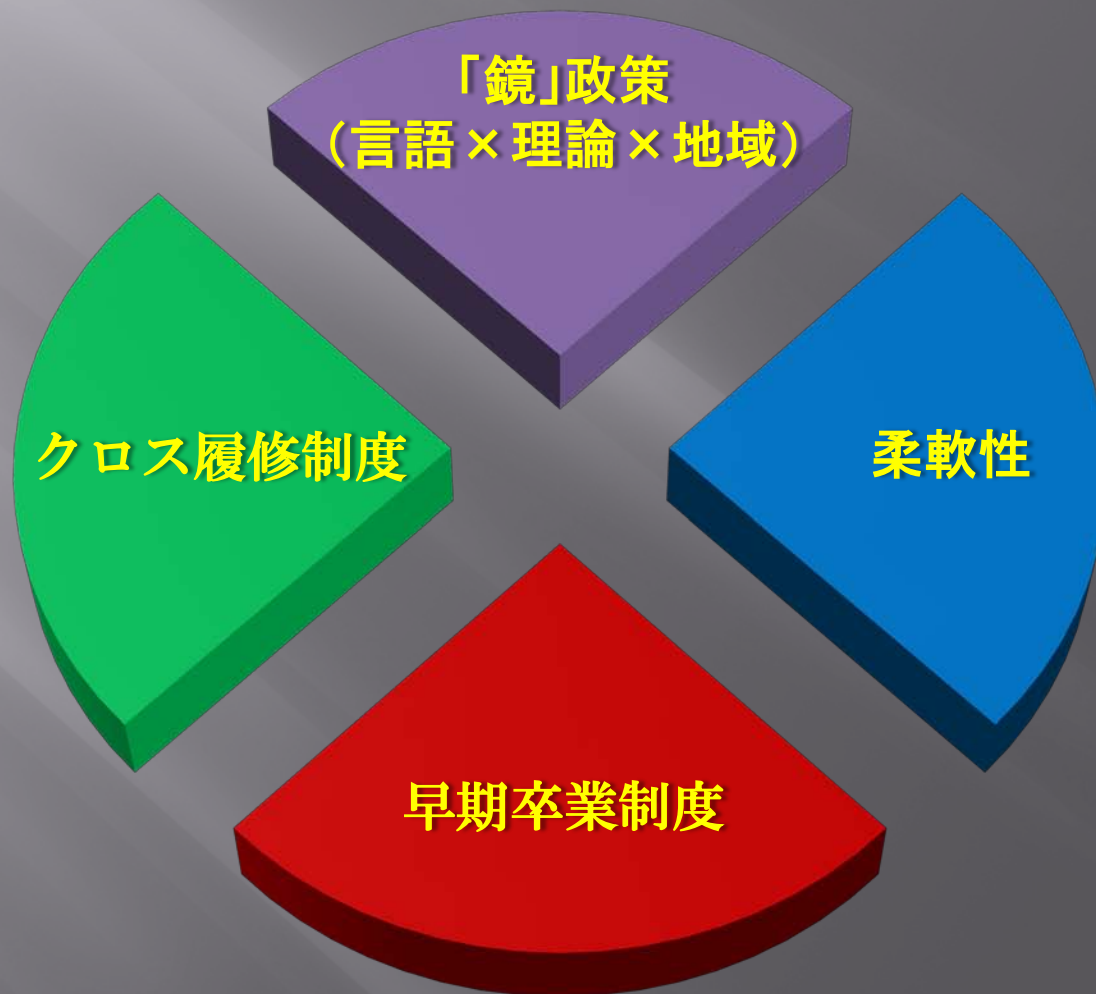
地域別学生数（9月入学）



カリキュラムデザインの基本構想

コース	1年目	2年目	3年目	4年目
Foreign Language Courses	Comprehensive Japanese & Academic English			
Foundation Courses	Courses related to the study of international relations			
General Education Courses	Introduction to politics, economics, sociology etc.			
Core Program Courses		① <u>Peace and Governance Program</u> ② <u>Development and Sustainability Program</u> ③ <u>Culture and Society Program</u>		
Related Courses		Internship, Workshop		
Area Studies Courses		Japan, China, Korea, the USA, ASEAN etc.		
Seminar	Introductory Seminar		Advanced Seminar	

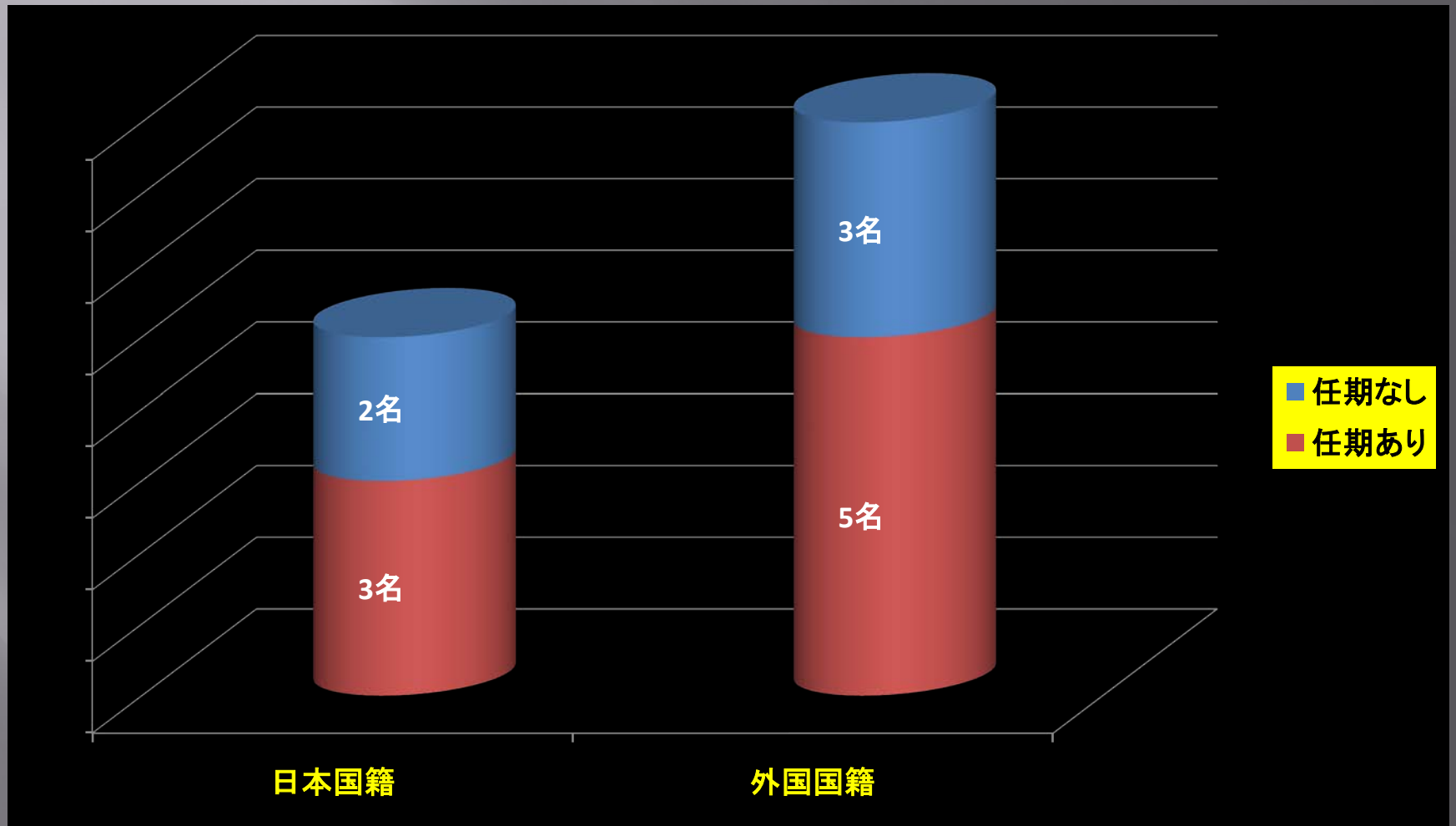
カリキュラムデザインの基本特徴



今後改善が必要な点

- 初期の「鏡」政策の再考
- 科目数の増加（エリアスタディーズなど）
- 言語学習授業の再編成
 - アカデミックイングリッシュ
 - 日本語の授業
 - 第3外国語学習の機会
- Computer Literacy授業の再考
- アサイメント量の調整
- 学生同士の交流機会の増加

GS専攻授業担当者数



ティーチングスタッフの現状

- ▣ **たいへん国際化した環境**
- ▣ **任期なしの教員**
 - 教授会へ出席
2013年度に英語日本語同時通訳制度が導入
 - 様々な委員会へ出席
 - 学部運営上の担当業務には日本人教員と区別なし
- ▣ **任期ありの教員（5年契約，更新不可）**
 - 教授会へ出席しない
2013年度に「GS Luncheon Meeting」が導入
 - 学部運営上の担当業務には制限がある

今後改善が必要な点

- ▣ 国籍の問題よりも雇用パターンに問題があり
 - ▣ 任期ありの教員
 - 学部運営上の担当業務に制限
 - 5年契約の更新不可
- => 周辺化, 疎外感の登場, モチベーションの減少



(Tenure-track employment制度の導入が望ましい)

- ▣ 現在, 人事構想委員会で議論

ご清聴ありがとうございました。